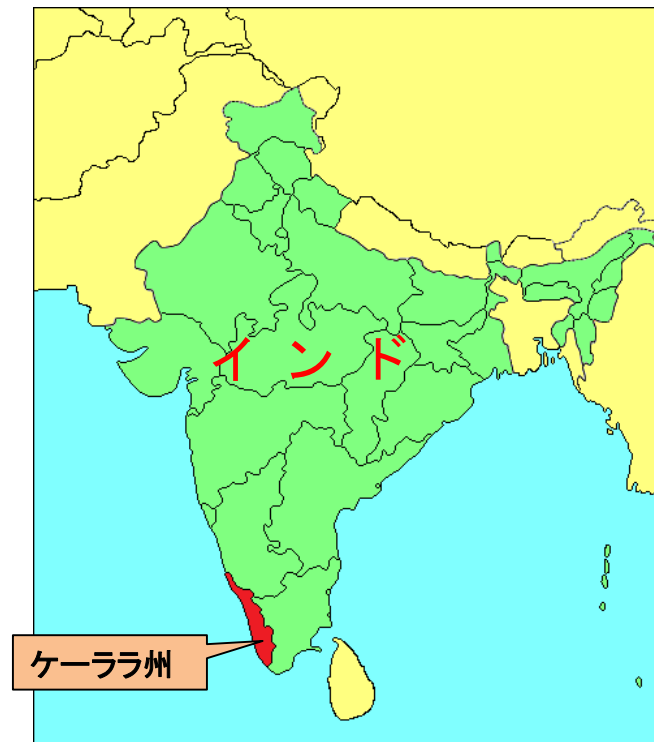


インド、ケーララ州でマラリアが再発

2010年7月14日 ProMED 情報(The Hindu)



公式には5～6年ほど前にケーララ Kerala 州では、マラリアが根絶されたということですが、同州でマラリアが発生しました。このため同州トリチユール Thrissur 県の住民や保健衛生当局に大きな心配を呼び起こしています。同県では本年これまでマラリア患者 82 名が報告されています。患者 82 名のうち 77 名は三日熱マラリア、1 名は熱帯熱マラリア、4 名は混合感染でした。昨年マラリア患者数は 154 名で、そのうち 7 名が熱帯熱マラリアの感染でした。

同県では過去、整備された健康記録がありました。しかし医療施設が著しく改善されたにもかかわらず、現在、状況は激しく変化しました。感染症の発生やマラリアのような根絶された病気の発生は特に憂慮すべきことです。

医務官(DMO)によると、同県で確認された多くのマラリア患者は、主として北部インドのオリッサ Orissa 州、ビハール Bihar 州、ウエスト・ベンガル West Bengal 州からの移入労働者ということです。州の外で働いている労働者の一部も感染すると治療にやって来るといっています。

保健省は、他の州からの移入労働者が現場に到着すると、直ちにマラリアのスクリーニング検査を実施し、症状が出たなら直ちに投薬治療を行っているとのこと。